

令和4年度 第1回 霧島市ふるさと創生有識者会議

開催日時	令和4年7月22日(金) 14:00~15:15			
開催場所	国分公民館3階 大研修室			
出席者	有識者	本田 泰寛 委員長、川東 千尋 副委員長、仮屋 良江 委員、 泉 仁志 委員、武田 和大 委員、斑目 信行 委員、中村 有佐 委員、 村上 和 委員、田間 美沙緒 委員、林 慶藏 委員、鶴ヶ野 未央 委員、 蘆田 慶子 委員 (全15委員中12人が出席)		
	霧島市	地域政策課：今村 主幹兼中山間地域活性化G長 商工振興課：西村 主幹兼商工観光政策G長、勘場 主任主事 中村 企業振興室サブリーダー、 市民活動推進課：山口 道義高揚推進室室長兼市民環境政策・国際交流G長 保健福祉政策課：森山 主幹兼政策G長 子育て支援課：小橋 主幹兼子ども・子育てG長 健康増進課：上小園 主幹兼保健予防G長 農政畜産課：内村 主幹兼農林水産政策G長 観光PR課：富久 主幹兼PR推進G長 建設政策課：笛田 主幹兼政策G長 教育総務課：山内 教育政策G長		
	事務局	出口 企画部長、上小園 企画政策課長、藤田 主幹兼企画政策G長、 川床 企画政策Gサブリーダー、藤山 企画政策G主任主事		
	公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
会次第 1 開会 2 企画部長あいさつ 3 委員の紹介・あいさつ 4 議事 (1) 委員長及び副委員長の選任について (2) 令和3年度地方創生推進交付金事業について ・創業支援と一体となった民間主導・公民連携のリノベーションまちづくり推進事業 (商工振興課) 資料1 ・新たな人の流れ創出プロジェクト (地域政策課) 資料2 (3) 第3期総合戦略と総合計画後期基本計画の統合について 資料3				

5 その他

6 閉会

議事等の概要

議事

☒：委員 ☓：事務局

(1) 委員長及び副委員長の選任について

【本田 泰寛 委員】が委員長に互選され、【川東 千尋 委員】が副委員長に指名され、それぞれ挨拶を行う。

(2) 令和3年度地方創生推進交付金事業について

→ 事務局（商工振興課）から「創業支援と一体となった民間主導・公民連携のリノベーションまちづくり推進事業」について、資料1に基づき説明。また、事務局（地域政策課）から「新たな人の流れ創出プロジェクト」について、資料2に基づき説明。

委員からの主な質疑、助言、提言等は次のとおり。

【創業支援と一体となった民間主導・公民連携のリノベーションまちづくり推進事業】

☒ 新規創業も個人事業による事業開始が多いなど、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているのだと思うが、遊休不動産の活用について、今後どのように進めていくのか。

☓ 遊休不動産については、中心市街地、中山間地域の両者に存在するが、中心部は賃料等も高い。家主への家賃交渉や小規模な改修で創業できる手法を検討するなど、創業を検討する人に伴走して、起業へのハードルを下げられるよう取り組んでいきたい。

☒ 創業人材が孤立しないように取り組んでいるとのことだが、具体的にどのような取組を行っているのか。

☓ 創業に関するスクールを実施しており、学ぶだけでなく、起業を検討する人同士のネットワークを作る機会にもなるように取り組んでいる。その後も、シンポジウムや報告会等を通じて、創業者同士のノウハウの共有やコミュニティの醸成ができるよう取り組んでいる。

☒ 隼人駅の周辺の比較的いい立地にも空き店舗があったりして、もったいないと感じることがある。店舗の進出時は、道路状況など様々な条件を検討するので、都市計画など時間のかかる取組だが進めていただきたい。

【新たな人の流れ創出プロジェクト】

- ㊦ 移住プロモーション活動による相談件数も多く、成果が出ているように感じる。相談内容を分析すれば、今後の取組にも活用できると思う。
- ㊦ 移住者への補助事業等については、アンケートも実施している。相談内容は、仕事や子育て、生活環境に関する質問が多いので、市役所内の情報だけでなく、ハローワークの求人情報等も紹介している。今後、移住を検討する人がどのような情報を求めているのか、その情報をどのように提供できるか等、関係機関にも相談しながら検討していきたい。
- ㊦ 総合戦略で掲げる3つの柱「訪れたいまち」、「住み続けたいまち」、「働きたいまち」の方向性は、移住希望者の関心事とも一致しているようで、取組の方向性は間違っていないように感じる。

- ㊦ オンライン移住ツアーの参加者はどんな地域の人だったのか。
- ㊦ 全体で31組39名。県内6組、北海道1組、関東11組、中部3組、近畿1組、中国2組、九州4組、海外からもマレーシア、ニュージーランド、カンボジアから各1組参加があった。

- ㊦ 東京など都市部への人口の一極集中を是正し、地方に人の流れを作るという地方創生の取組の中で、全国の自治体が移住支援に取り組んでいる。同じように取り組むのではなく、特色をPRすることも重要である。霧島市には、誘致企業も含めて多くの企業が立地しており、働く場がたくさんあるということをもっとPRしていくべきだと思う。これから5～10年で、確実に企業は人材不足という課題にぶつかる。そうなる前に都市部への人口流出を抑える、又は、都市部に出た人に帰ってきてもらうよう取り組んでいくことが重要である。

- ㊦ 求人の件数や情報だけでなく、移住したらどうなるか、移住後の生活をイメージできるのも大切だと思うので、移住者の生の声を掲載した移住ガイドブックの作製はいい取組だと思う。

- ㊦ 霧島市は1市6町が合併して誕生したが、国分・隼人地区は人がどんどん入ってきている。中山間地域は人口減少をどうにかしなければということで様々な施策が講じられているが、人口が増えている地域でも、自治会加入率が低く、コミュニティの維持が難しくなっているという課題がある。

(3) 第3期総合戦略と総合計画後期基本計画の統合について

→ 事務局（企画政策課）から「第3期総合戦略と総合計画後期基本計画の統合について」、資料3に基づき説明。

委員からの主な質疑等は次のとおり。

④ 総合戦略と総合計画の統合は、どのようなイメージなのか。

⑤ 現行の前期基本計画にも総合戦略に類似した内容が、「きりしまみらいプロジェクト」として掲載されている。後期基本計画では、総合計画の中で人口減少の克服等に向けて分野横断的に重点して取り組むものについて、総合戦略として基本事業を再掲する形で取りまとめることを想定している。

会議資料	会次第
	資料1 創業支援と一体となった民間主導・公民連携のリノベーションまちづくり推進事業 (令和3年度地方創生推進交付金事業効果検証シート)
	資料2 新たな人の流れ創出プロジェクト (令和3年度地方創生推進交付金事業効果検証シート)
	資料3 第3期総合戦略と後期基本計画の統合